

No.

数量総括表

上段:当初数量

※ 積算システムによる内部計上

469号線 上古田

下段:変更後数量

工種	細目	計算式	数量	単位
道路改良		平面図・縦断図・横断図・展開図より		
構造物取壊し工				
	舗装切断 t=4cm 15.0cm以下	$L=2.2+2.4 = 4.60$	5.0	m
	舗装版破碎積込 t=4cm	$= 29.90$	30.0	m ²
	構造物取壊し コンクリート2次製品	$6634\text{kg}/1000 \times 1/2.5 = 2.70$	3.0	m ³
	転落防止柵撤去 鉄材	8.0m は再利用 $= 16.00$	16.0	m
	殻運搬 As塊 L=9.1km 南重想定	$= 1.20$	1.0	m ³
	殻運搬 2次Co塊 L=13.2km ティーフラット想定	$= 2.70$	3.0	m ³
	殻運搬 くず鉄 L=10.4km キタニ想定	$8.0 \times 11.3\text{kg}/\text{m} \times 1/1000 = 0.09$	0.1	t
処分費				
	処分費 As塊 南重想定	$1.2 \times 2.3/1.8 = 1.53$	1.5	m ³
	処分費 2次製品 ティーフラット想定	$= 6.60$	6.6	t
	処分費 くず鉄 キタニ想定	$= 0.09$	0.09	t
道路土工		土工計算書より		
	床掘 小規模	$= 50.90$	51.0	m ³
	埋戻し 小規模	$= 45.90$	46.0	m ³
	基面整正	床掘小規模土工のため計上しない $=$		m ²
	法面整形	盛土 $= 14.40$	14.0	m ²
擁壁工		構造物計算書より		

	コンクリート	= 0.38	0.4	m3
	型枠	= 2.40	2.0	m2
	アンカーボルト	D13 0.6kg/1000=0.001 = 0.001	0.01	t
	カルバート工	構造物計算書より =		
	ボックスカルバート 1000*1000*2000	= 4.00	4.0	m
	※敷モルタル(1:3) t=20mm	0.25m3/10m =		
	※基礎コンクリート 18-8-25BB t=100mm	1.44m3/10m =		
	※型枠	2.0m2/10m =		
	※基礎砕石 RC-40 t=150mm	14.4m2/10m =		
	既設水路補強工			
	コンクリート 18-8-25BB	= 0.18	0.2	m3
	型枠	= 3.80	4.0	m3
	鉄筋 (D13)	35kg/1000=0.035 t = 0.035	0.04	t
	支保工	= 0.20	0.2	空m3
	水替え工			
	土のう積工	小口上流W1.2×H0.5+下流W1.0×0.5 = 1.10	1.0	m2
	水替工(潜水ポンプ運転)	= 9.00	9.0	日
	寒中養生工(差額)			
	寒中養生工 一般養生 無筋構造物	冬期僻地補正計算書より =		m3

設計・積算に使用した単価

品名・規格	A 社	B 社	C 社	採用単価	備 考
	単価	単価	単価		
一体型ガードレール 日鉄神鋼建材(株) Gr-C-4E+PA2+PA	日鉄神鋼建材 (株) 東 京支店長野営業 所	(株)酒井工業所			
セイフティガードレール JFE建材フェンス(株) SGR-C4-P4-110EH 上記同等品以上					平均単価
上記設置工 1m当り ※但し 通常のガードレール設置分含む					最低単価